

2025年10月7日発行(第13号・情報追加版)



エクスポ★とうほく花便り

～東北地域国際園芸博覧会連絡会議等メールマガジン～



※3. 東北புசினோன்றும்「みやぎフラワーフェスティバル2025」を追加しました(2025年10月7日)。

《トピックス》

1. GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレートの交付
2. 「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」の随時募集を開始！
3. 東北புசினோன்றும்
4. 編集後記



1. GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレートの交付－国土交通省－



エクspo★とうほく花便り第10号(令和7年6月9日発行)でもご紹介しましたが、GREEN×EXPO 2027の開催を記念した特別仕様(図柄入り)ナンバープレートを、期間限定(令和9年11月末までの間)で全国の希望者へ交付しています。1,000円以上の寄付をしていただきますと、フルカラーの特別仕様ナンバープレートを選択できます。当局でも、9月に官用車1台に、年内にさらに2台に取り付けする予定です。



←地域名はお住いの地域のものとなります。画像は「横浜」の一例です。

◆詳細はこちら↓↓

[GREEN×EXPO 2027\(2027年国際園芸博覧会\)特別仕様ナンバープレート](#)



2. 「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」の随時募集を開始！－農林水産省－



農林水産省は国土交通省と共同で、全国の多様な主体の参画を得て GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図る「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」を実施し、過去2回募集を行いましたが、募集期間外の応募受付を希望するお声を多数いただいたことから、10月1日より随時募集を開始しています。◆詳細はこちら↓↓

[「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」随時募集開始～みどりをはぐくむ明日のため](#)



3. 東北ぶち情報



東北管内で今の時期に楽しめる花き情報をご紹介します。この機会にぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか。

○秋田国際ダリア園(秋田県秋田市)



【開園期間】8月中旬から11月初旬まで

【開園時間】7:00 から日没まで

【入場料】大人500円(高校生以下無料)

秋田国際ダリア園のダリアは、日本を代表するダリア育種家の鷺澤氏が育てたダリアです。ダリア園の廻には、レストラン、里の家、ジェラテリアなど建物が立ち並んでおり、広々とした園内で色とりどりのダリアを見て、楽しむことができます。秋田の空の下に、何輪ものダリアを咲かせるダリア園へぜひお越しください。

◆詳細はこちら↓↓

[秋田国際ダリア園 | 目の前に広がる大自然とダリア](#)

○国営みちのく杜の湖畔公園(宮城県柴田郡川崎町)



南地区だんだん畑(総面積約 6,000 m²)には約5,700株、彩りのひろば大花壇の一部に約1,300株、合計約7,000株のコキアが植栽されており、10月中旬より一面真っ赤に染まるコキアをお楽しみいただけます。また、10/31(金)～11/3(月・祝)、7(金)～9(日)は古民家ライトアップ「みちのくふるさと秋灯り」を開催、温かな光に浮かび上がるふるさと村の古民家や樹木、水辺はどこか懐かしく、優雅で落ち着いた雰

囲気をお楽しみいただけます。点灯時間 16:00～20:00(最終入園 19:30)

【コキア紅葉見ごろ】10月中旬～10月下旬

【開園時間】10月無休 9:30～17:00

11月以降火曜休園 9:30～16:00

【入園料】大人 450 円 シルバー(65 歳以上)210 円 中学生以下無料

◆詳細はこちら↓↓

[みちのく公園の秋 - みちのく公園 | 東北の自然と文化が体験できる国営公園](#)

○みやぎフラワーフェスティバル 2025

【日時】10月18日(土)10:00～16:00、10月19日(日)10:00～16:00

【内容】



- ・フラワーアレンジメント体験や寄せ植え体験ができるワークショップ
- ・花ステーション～移動花屋さん～
(特設の花屋さんで好きなお花を5本お選びいただけます!)
- ・令和7年度宮城県花き品評会一般展示及び表彰式
- ・フラワーフォトスポットの設置
- ・花き関係物品や地域特産物の販売 等

◆詳細はこちら↓↓

[みやぎフラワーフェスティバル2025を開催します - 宮城県公式ウェブサイト](#)



4. 編集後記



皆様こんにちは。東北農政局園芸特産課花き班です。最近涼しくなってきましたね。東北の短い秋が始まりました。東北には素晴らしい紅葉名所が数多くあり、温泉を楽しみながら紅葉巡りをしたいと思う今日この頃です。

先日、遅めの夏季休暇を取得し、平日の昼間に自然豊かな公園を散歩したのですが、花壇の前で水彩画を描いている方がいらっしゃいました。まさに、芸術の秋ですね。

今ではスマホやタブレットで、すぐに写真をとることができます、「今ここ」の瞬間を切り取る方法として、自然の中で時間をかけて「絵」を描くのは、ハイスピードな現代を生きる日本人には贅沢なことかもしれないと思いました。こういった時間も人間には必要なのではないでしょうか(た)。



発行:東北農政局生産部園芸特産課花き担当
〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1
TEL:022-221-6214



◇このメールマガジンについて、シェア・ご登録をお願いいたします！！

ご登録はこちら↓↓↓

[エクスボ★とうほく花便り:東北農政局](#)

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方はこちら↓↓↓

touhoku_flower@maff.go.jp

◇配信停止をご希望される方はこちら↓↓↓

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/tokusan/231002.html>